

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月30日

【評価実施概要】

事業所番号	270500523		
法人名	医療法人白生会		
事業所名	医療法人白生会グループホーム浅井		
所在地 (電話番号)	〒037-0613 青森県五所川原市浅井字色吉164-1 (電話) 0173-29-4618		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年6月11日	評価確定日	平成21年7月30日

【情報提供票より】(平成21年5月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	13.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(5月20日現在)

利用者人数	17 名	男性 2 名	女性 15 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	12 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	86.5 歳	最低	65 歳
		最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)白生会胃腸病院、あすなる歯科、工藤歯科
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>国道沿いに大きな看板が設置されており、とても分かりやすい。施設前は手入れの行き届いた庭、大きな桜の木があり、花見時は満開の桜を楽しむ事ができる。敷地が広々としている事から行事では、婦人会が催しを披露したり地域ぐるみの交流がされている。また、デイサービスと併設していることから、行事等はデイサービスのホールを活用したり、外出時は自由に車を活用している。食堂ホールは明るく、落ち着いた雰囲気であり、なにより入居者と職員の皆さんが穏やかな表情で笑顔で過ごされていた。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>市町村との連携では、市からの情報を受けたり、施設からの相談を随時行っている。虐待防止ではマニュアル作りを月1回の勉強会で話し合い、虐待防止に努め、改善に向け取り組むなど意欲的な姿勢が見られる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員が外部評価の意義を理解し、自己評価を全職員で話し合い作成している。外部評価の結果についても真摯に受け止めサービスの向上に向け積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的開催され、参加者(ご家族、地域の方、市役所職員)に施設の取り組みを公表し意見を頂きながらサービスの向上に活かしている。また、地域の消防団の施設見学等予定し地域との関わりが良好で協体制ができている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>介護計画は3ヶ月ごとに見直しされ、見直しの都度入居者、家族との話し合いを持ち意見、要望を伝えることの出来る体性が整っている。また、意見箱設置にて意見・相談の収集に努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>敷地がとても広い為、ホームでの夏祭り等は地域の皆さんが集まり盛大に行われている。市からの依頼で狂犬病の注射を敷地内で行い、地域の犬が集まり、利用者の皆さんは動物との触れ合いも楽しまれた。近所の小学校との交流も大切にされ、子供達の行事を見学に出かけたり、ホームへ遊びに来てくれる関係が出来ている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体の理念の他に、全職員の意見を取り入れた事業所独自2ユニット共通の理念を1年毎に更新している。又、「皆と共に・・・」というフレーズの中には、地域も全て含めた思想のもとに作成されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝申し送りの際に読み上げ、スタッフからの聞き取りの際にも、理念をもとに日々のケアに取り組んでいる姿勢が伺える。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣近所の住人と日常的な挨拶をかわしたり、野菜の持込がある。近隣の小学校からは、花の提供・学習発表会・バザー等への参加の呼びかけがあったり、地域住民の一員として、町内会への加入・事業所のアピール・認知症の理解への普及活動等も行っていると共に、広大な敷地を提供したりと、地域交流に対しての積極的な活動がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価に関しては、スタッフ全員参加のもと、取り組みの内容を確認しながら行い、作成後の評価も確認している。外部評価での課題への改善にあたっては、真摯に受け止め、虐待マニュアルの作成がされたりと、課題をクリアする意欲が伺える。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催され、外部評価・避難訓練・各種活動状況等の計画・報告がされ、出席者との意見交換が行われている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者の運営推進会議への参加は年1、2回だが、議事録の配布・外部評価の結果報告・集団指導への参加がされ、特例者に関するアドバイスの提供や、介護報酬改定後の状況の共有等、機会があるごとに情報交換され、協同の姿勢が伺える。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見人制度に関する研修へ参加されている。又、3名の福祉権利擁護事業制度を利用している入居者がおり、実践を経験しながら内容の理解・把握がされている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>前回の外部評価の改善項目のひとつであったが、スタッフ全員で話し合い、口頭確認のみに止まらず、マニュアルが作成され、それをもとに虐待防止に取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、契約書・重要事項説明書等の書面をもとに説明義務を果たしており、入居希望者・家族に対する契約内容の十分な理解に努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>基本的には、最低月1回の報告を行っており、契約・入居時に家族の意向を確認し、報告内容に応じた対応をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時・電話・意見箱にて意見・不満等の収集に努め、申し送り・会議・カンファレンス時に取り上げ、早急に是正すべく取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での人事異動は止むを得ない状況にあるが、入居者へのダメージを最小限に抑える事が出来る様、引継ぎの時間は2週間程設ける等の工夫がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体での新任研修をはじめ、グループホームでの勉強会を行っている。外部研修への参加人数は限られているが、伝達研修・資料の配布等にて、スタッフ全員が研修内容を把握出来る様に努めており、個人のスキルアップや、サービス内容の向上に努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県・西北五のグループホームの研修会で交流を図り、情報の交換・サービス内容の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にホームに来て頂き、雰囲気・入居者との関わりを体感したり、家族とも相談しながら積極的に取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の思い・得意な事を尊重すると共に、人生の先輩として敬愛しながら、信頼関係の構築に努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からの聞き取り・話し合い、本人の言動・行動生活歴等を把握・受容し、センター方式を活用しながら利用者本位のサービス提供に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の思い・意向を把握し、介護計画に反映すべく取り組みがスタッフ全員でされている。家族参加への呼びかけも積極的に行なわれ、前向きな姿勢が伺える。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月毎に見直されており、入居時・状況に変化のあった入居者に関しては、3ヶ月に囚われず、現状に即応した介護計画の作成に努め、その人らしい介護計画が作成されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者・家族の状況・要望に応じ、柔軟なサービスが提供されている。日曜日には併設のデイサービスの車両の有効利用もされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の納得のもと、法人の医療機関を中心に実践されていると共に、入居以前からのかかりつけ医の受診も、家族の協力を得ながら継続している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体が医療法人でもある事から、看取り体制は確立されている。契約時にラインを説明し、家族の理解・了承を得ると共に、都度、本人の状況・家族の意向の変動に応じた話し合いが持たれ、それを記録し、デリケートな問題に関して細心の配慮のもと、方針の共有に努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	母体主催の勉強会で職員への周知徹底を図り、守秘義務に関する契約を結んだうえで日々のサービスにあたっている。又、個人情報に関する事は、家族の理解・了承を得ながら、慎重に取り扱っている。		口頭での確認のみに止まらず、事業所独自のマニュアルの作成・勉強会の記録を整備される事を期待します。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のスケジュールに囚われず、個々の思い・意向を受容し、共に行動する支援がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>米とぎ・茶碗拭き・挨拶等、個々の得意な事・出来る事を活かし協働作業がされている。自由調理の日を設け、基本の献立をアレンジしたり、入居者の希望メニューを取り入れたりと、共に食事を楽しむ工夫がされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴が実施され、それ以外でも夏場・作業後のシャワー浴等、入居者の状況に応じた支援がされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴・入居後の状態を把握し、ケアプランをもとに、個々の機能・得意分野に即した役割分担・娯楽の提供がされ、生活意欲を引き出すべく支援がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日曜日には、併設のデイサービスの車両を活用され、個々の希望に応じ、日々の散歩から、墓参り・買い物・催し物への参加等、多岐に渡った支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>スタッフ全員で、身体拘束の理解と、それをしないケアを提供するよう取り組んでいる。</p>		<p>口頭確認だけでなく、研修・勉強会の記録の整備・独自のマニュアルの作成等、積極的な取り組みを期待します。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>10時・13時・15時の3回人員確認がされている。ケアプランによっては、更に確認する回数を追加するなど、所在把握の徹底がされており、日中は玄関・廊下等の施錠はしていない。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災マニュアルが整備され、地域の住民・消防署の協力を得て、年2回の避難訓練が実施されている。その他、消防署員による消火器の操作方法の説明・消火訓練がされたり、事業所独自で防災に関する理解度検証の為、全スタッフに対するアンケートを実施する等、前向きな取り組みがされている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>母体の管理栄養士が基本的なメニューを作成し、栄養のバランスは確保されている。味付けは薄味にし、健康管理に努め、入居者の状態によっては摂取量の記入も行っている。水分に至っては、1000cc以上を目安に、日中はもちろんな夜間もベッドサイドにペットボトルを常備し、徹底した水分補給に努めている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルの整備・定期的な消毒が行われている。職員・入居者共にインフルエンザの予防接種の実施がされ、手洗い所・玄関等にも消毒剤が置かれており、内外に対する感染予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	国道に面しているものの、車両の音が気にならず、天井の高いリビングは採光も十分でゆったりとした雰囲気がある。殺風景になりがちな廊下にも、子供じみたものではなく、本格的な絵画が飾られ落ち着いた雰囲気がある。神棚も設置され、本人の習慣の尊重もされている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものの持込を呼びかけているが、なかなか家族の協力を得られない状況であるものの、備え付けの家具は家庭的で、故人・家族の思い出の写真を持ち込み、個性を尊重した居室作りへの取り組みがされている。		

 は、重点項目。